

## 取締役会全体の実効性に関する評価・分析の結果の概要について

当社は、取締役会による迅速かつ的確な意思決定を可能とするとともに、その実現に向けた今後の課題を認識すべく、「コーポレート・ガバナンス基本方針」に基づき、取締役会全体の実効性に関する分析及び評価を実施することとしています。今般、取締役会において、2025年9月期（第29期。以下「本年度」といいます。）における取締役会全体の実効性の分析及び評価を実施し、その結果をまとめましたので、その概要を報告いたします。

なお、当社のコーポレート・ガバナンスに関する情報につきましては、当社ホームページ（[https://openhouse-group.co.jp/ir/management/management\\_03.html](https://openhouse-group.co.jp/ir/management/management_03.html)）に公表しております。

### 1 分析及び評価の方法

取締役全9名及び監査役全3名に対して、2024年9月期（第28期。以下「前年度」といいます。）において課題と認識された事項を含む下記項目からなる記名式のアンケート（計33問の質問事項への5段階評価による回答及び自由記載）を実施し、回答を集計しました。取締役会は、この集計結果をもとに審議を行い、取締役会の実効性に関する分析及び自己評価を実施しました。

#### I. 取締役会の構成等

- （1）取締役会の役割・構成
- （2）指名報酬委員会の活用

#### II. 取締役会の開催・運営の状況

- （1）取締役会資料の事前送付・事前説明
- （2）提示される情報の必要十分性
- （3）審議項目数、審議時間、審議方法、発言の状況
- （4）社外取締役の活用・サポート体制

#### III. 重点課題に対する取締役会の取組み・監督

- （1）全社的なリスク管理・コンプライアンス体制
- （2）サステナビリティ・ESGに関する取組み
- （3）労務管理・顧客満足度向上
- （4）後継者計画

## 2 評価結果の概要

2025年12月開催の取締役会における審議の結果、アンケート項目の評価は総合的に高く、取締役会の実効性は高いとの結論に至りました。アンケート項目ごとの評価結果及び理由の概要は、以下のとおりであります。

### I. 取締役会の構成等

#### (1) 取締役会の役割・構成

##### ア 評価結果

良好である。

##### イ 理由

取締役会の人数、スキルバランス・多様性、社外取締役の人数などが適切であること、純粋持株会社の体制のもとでの経営陣への権限委譲やそのモニタリングが適切に行われていることなどが確認されました。

また、本項目については、昨年度からの改善がみられるとともに、全体を通じて肯定的な意見が示されました。

これらのことから、本項目については、良好であると評価しました。

#### (2) 指名報酬委員会の活用

##### ア 評価結果

良好である。

##### イ 理由

当社が設置する指名報酬委員会（＊）について、同委員会の人数・構成等が適切であること、同委員会がその役割・責務を適切に果たしていること、個人別の取締役報酬の決定プロセスの客観性・透明性の確保に寄与していることなどが確認されました。

また、本項目については、全体を通じて肯定的な意見が示されました。

これらのことから、本項目については、良好であると評価しました。

（＊）当社は、当社グループ全体のコーポレート・ガバナンス体制を構成する「任意の委員会」の一つとして、指名報酬委員会を設置・運営しております。同委員会は、構成員の過半数が独立社外取締役で構成されており、重要な役職者の指名、取締役報酬額の決定などの役割・責務を担っております。

### II. 取締役会の開催・運営の状況

#### (1) 取締役会資料の事前送付・事前説明

##### ア 評価結果

良好である。

##### イ 理由

取締役会資料の事前送付の時期・方法等が概ね適切であること、取締役会の開催に先立ち実施している事前説明会が有効に機能していることなどが確認されました。

取締役会資料送付のさらなる早期化に関して、さらなる工夫を期待する建設的な意見が示されたものの、本項目については、全体を通じて概ね肯定的な意見が示されました。

これらのことから、本項目については、良好であると評価しました。

(2) 提示される情報の必要十分性

ア 評価結果

良好である。

イ 理由

取締役会に提示される資料の内容・分量が概ね適切であること、役員が追加の情報・資料に円滑にアクセスするための体制が概ね適切に整備されていることなどが確認されました。

また、本項目については、昨年度からの改善がみられました。

これらのことから、本項目については、良好であると評価しました。

(3) 審議項目数、審議時間、審議方法、発言の状況

ア 評価結果

良好である。

イ 理由

取締役会の審議事項が適切に選定されていること、重要な審議事項が適切な時期に取締役会に上程されていること、取締役会の議事録が適切に作成されていることなどが確認されました。

取締役会における議論の方法等に関して、さらなる工夫を期待する建設的な意見が示されたものの、本項目については、昨年度からの改善がみられるとともに、全体を通じて概ね肯定的な意見が示されました。

これらのことから、本項目については、良好であると評価しました。

(4) 社外取締役の活用・サポート体制

ア 評価結果

良好である。

イ 理由

社外取締役が追加の情報提供を求める機会・体制が適切に確保されていること、社外取締役と監査役・内部監査部門との連繋が適切に確保されていることなどが確認されました。

また、本項目については、昨年度からの改善がみられました。

これらのことから、本項目については、良好であると評価しました。

### Ⅲ. 重点課題に対する取締役会の取組み・監督

#### (1) 全社的なリスク管理・コンプライアンス体制

##### ア 評価結果

良好である。

##### イ 理由

取締役会が、事業上の主要なリスクやその管理体制について十分な議論・監督を行っていること、海外子会社等の内部統制について十分な議論・監督を行っていること、利益相反取引・関連当事者間取引について十分な議論・監督を行っていることなどが確認されました。

取締役会における議論・監督の方法に関して、さらなる工夫を期待する建設的な意見が示されたものの、本項目については、全体を通じて概ね肯定的な意見が示されました。

これらのことから、本項目については、良好であると評価しました。

#### (2) サステナビリティ・E S Gに関する取組み

##### ア 評価結果

概ね良好である。

##### イ 理由

取締役会が人的資本・ジェンダーに関する取組みについて十分な議論・監督を行っていること、当社が設置するサステナビリティ委員会（\*）と取締役会との連繋が適切になされていることなどが確認されました。

取締役会における議論・監督のさらなる充実を求める意見が示されたことから、この点については今後の検討事項として認識することとなりましたが、本項目については、昨年度からの改善がみられるとともに、肯定的に評価する意見が多数を占めることとなりました。

これらのことから、本項目については、概ね良好であると評価しました。

（\*）当社は、当社グループ全体のコーポレート・ガバナンス体制を構成する「任意の委員会」の一つとして、サステナビリティ委員会を設置・運営しております。同委員会は、担当取締役、執行役員及び部門長などで構成されており、当社グループにおけるサステナビリティ活動の推進などの役割・責務を担っております。

#### (3) 労務管理・顧客満足度向上

##### ア 評価結果

概ね良好である。

##### イ 理由

取締役会が、グループ全体の労務管理、従業員による不正・不祥事の防止、顧

客満足度の向上などについて必要な議論・監督を行っていることが確認されました。

取締役会における議論・監督のさらなる充実を求める意見が示されたことから、この点については今後の検討事項として認識することとなりましたが、本項目については、昨年度からの改善がみられるとともに、肯定的に評価する意見が多数を占めることとなりました。

これらのことから、本項目については、概ね良好であると評価しました。

#### (4) 後継者計画

##### ア 評価結果

良好である。

##### イ 理由

取締役会が、重要な役職員に関する後継者の計画について十分な議論・監督を行っていることなどが確認されました（\*）。

また、本項目については、昨年度からの大幅な改善がみられました。

これらのことから、本項目については、良好であると評価しました。

（\*）当社は、当社グループの持続的成長を目的として、2025年10月1日より新たな経営体制を採用しております。後継者計画に関する議論を重ねた結果、新たな経営体制のもとでは、福岡良介氏を代表取締役社長に選定しております。

### 3 前年度の評価結果を踏まえた取組みの状況

当社は、前年度においても、取締役会の実効性評価に関するアンケートを実施しました。アンケート項目の評価は総合的に高く、重大な問題が顕出されることはありませんでしたが、一部の項目については、課題として認識され、または改善を期待する意見が提示されることとなりました。

当社は、本年度において、これらの事項について充実・見直しに向けた取組みを実施しました。その取組みの状況に関するアンケートの結果については、前記「2 評価結果の概要」に記載のとおりであります。

### 4 今後の課題と対応

取締役会は、以上の評価結果を踏まえ、認識された課題の改善に向けた議論を重ね、コーポレート・ガバナンスのより一層の強化に取り組んでまいります。

以 上